

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもくらぶキジムナー		
○保護者評価実施期間	R7年3月1日		～ R7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	R7年3月1日		～ 令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富なスタッフで質の向上を図り、より良いサービスを提供しております。チームワークが良く、ワークライフマネジメントを導入し仕事しやすい環境が整っています。	職員のワークライフバランスを重視した7時間勤務を導入してしています。	業務改善に繋げるために日々のミーティングや、会議など定期的に話し合いを設けています。
2	丁寧な見学対応随時行っております。保護者様のご要望や、支援方針、活動の内容などご説明させて頂いております。	各関係機関、こども園や、保育園と連携し発達状況や特性への理解に向けた相談支援に繋がっています。	ホームページや、SNSなど情報を発信し、子どもの発達が気になる・・・どこに相談したら良いのかわからないなど、お困りごとに気軽に相談できる環境を整えています。
3	保護者支援に注力・保護者様の不安や悩みに寄り添い、発達状況や特性への理解に向けた相談支援を行っております。	対応の向上を図る観点から保護者様に対して成功事例や、経験豊富な職員より助言を行っております。	日頃保護者からの子育てに関してQ&Aを定期的にお伝えしていけるよう工夫してしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会がない。	発達支援センターへの訓練を受けている対象児童がいないため、発達支援センターへ行く機会がなかったが、今後療育センターなど、見学を通して連携を図りスーパーバイズの助言を受ける体制を整えていく。	ご利用者様の了承を得て、訓練の見学を通して事業所のできる取り組みなど、助言を受けるようにしていく。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていない。	近隣のコンビニでのお買い物体験や、散歩時に飲食店の方へご挨拶をする事で顔なじみになってきているが、今後、事業所の行事に招待するなど検討していく。	定期的に地域の方と事業所周辺の環境整備を行っております。感謝の気持ちを伝える為に、活動を通して招待する機会を検討していく。
3			